

## シリーズ診療Q&A

## ～教えてDr.～

「お答えします！」  
外科 樋口 太郎医師

Q.最近、「腹腔鏡手術」という言葉を良く聞きますがどのような手術なのでしょう？

A.一般的には「腹腔鏡（補助）下手術」と言われることが多く、従来のお腹を切る開腹手術とは異なり、お腹、腹壁に数mmから1cm程度の小さな穴を数カ所開け、この穴を通して腹腔鏡や電気メスなどの器具を入れて行う手術のことです。したがって、いわゆる消化器内視鏡検査が口や肛門を通して胃や大腸の内側（粘膜面）を監察するのに対して、腹腔鏡はお腹を通して胃や大腸の外側（漿膜面）から監察することができ、この特長を利用して手術を行うことになります。

Q.それでは腹腔鏡でどんな疾患の手術ができるのですか？

A.当初、胆石症や胆のう炎に対して導入され、腹腔鏡（補助）下胆のう摘出術は現在では標準術式となっています。また、大腸・胃などについても、徐々に適応が拡大されてきている状況です。ただし、これら全てがゆくゆく標準化される、ということではありません。現在でも、腹腔鏡（補助）下胆のう摘出術以外は開腹手術が一般的です。

Q.腹腔鏡（補助）下手術のメリットは何ですか？

A.まず、傷が小さく整容的に優れていること。さらに、開腹手術に比べて身体への負担が軽い（低侵襲）ために術後の回復が早く、結果的に入院期間が短縮される傾向にあります。しかし、良い事ばかりではなく、視野が狭いことから術中の偶発症が起こりやすく、途中から開腹手術に移行することもあります。該当する疾患が疑われる場合には、当院にご相談下さい。

### ～病院からのお知らせ～

- 「千葉市健康診査」の受付をしております。お早めに受診ください。
- 保険証の窓口確認をしております。ご協力をお願い致します。
- 機械警備（セコム）を導入しました。
- 風邪・インフルエンザの感染予防の為マスク着用にご協力下さい。（職員からお声がけする場合があります。）

### 編集後記

今年もまごころを込めて広報誌を作成致します。次号が遅れないように編集者一同努力いたします。今後とも「まごころ」を宜しくお願い致します。（編集長O）

今年も始まりました。皆様、吉報続きの良い年にしたいですね。医療制度の変化が大きい昨今ですが、「私達の出来る事を真面目に取り組む。」この12号を編集して感じた事です。今年も当院をよろしくお願い致します。（T）

健康維持には朝の過ごし方が重要と本で読んだ。朝食前に出来るほんの簡単な事を「朝飯前<あさめしまえ>」とも言う。簡単に出来る事。。。よし！家族の朝食を準備しよう。いつも通り。（匿名編集員）



斎藤労災の名物犬「ボボ」です。こうして壁に登って眺めるのが趣味だッ。



# まごころ

日本医療機能評価機構認定病院  
人間ドック・健診施設機能評価認定病院  
労働衛生機関評価機構認定病院  
労災二次健康診断等給付指定医療機関

## 平成19年の年頭にあって

院長 寺林秀隆



新年あけましておめでとうございます。皆様方には新しい年をお健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃から皆様には当院の診療、健診などの諸活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、健康診断事業も含めた医療環境はめまぐるしく変化し、多くの対応が求められている昨今ではありますが、昨年は健康診断部門では巡回乳腺健診のためマンモグラフィー車を導入し、政府管掌生活習慣病健診の指定を受け、診療部門ではシステム管理室を強化し、皆様のデータの保護・管理をより強固にと努力してまいりました。今年はいよいよ地域のニーズに合わせた診療体系の構築、健診における保健指導活動の充実などに力点を置きたいと考えております。又、より高い質を求めて精度管理の充実に努力して参ります。全国労働衛生団体連合会の機能評価を皮切りに病院機能評価・人間ドック機能評価の再認定にむけた作業が予定されております。決して大きくはない医療機関ではありますが、それゆえに細部にまで真心をこめたサービスを展開出来ると自負しております。職員一同全力で皆様のご要望にお答えすべく頑張ってお参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

ご支援頂いております患者様、受診者の皆様並びに医療機関や各事業所、関係各機関の皆様方のご多幸と益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



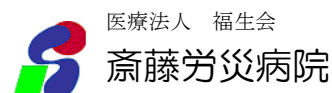
### 目次

	PAGE
年頭のご挨拶 ～院長～ 「システム管理室」発足	1
医療安全強化週間の取組み	2
経鼻内視鏡検査機器導入 「第3回転倒予防教室」開催日記	3
部署紹介「健康管理センター」	3
シリーズ診療Q&A ～教えてDr.～	4
病院からのお知らせ 編集後記	4

## システム管理室が発足しました

昨年10月にこれからの医療IT化時代に備えて、当院ではシステム管理室を発足させました。システムエンジニア（SE）2名が院内の様々な業務をITの側面から業務改善していきます。「各部署の抱えている問題にシステム管理室が積極的に関与し、業務改善のポイントをSEの目から提案していきたいと考えています。」と空間管理室長。業務は多岐に渡ります。

発行者



千葉県千葉市中央区道場南1-12-7  
電話 043(227)7437  
FAX 043(202)5460

ホームページもご覧ください  
<http://www.saito-rosai.or.jp>

## 「医療安全強化週間」の取り組みについて



今年度から当院では医療の安全に関して全職員が意識を強くする期間を設けることに致しました。「医療安全強化週間」と名付け、国の定める「医療安全推進週間」と同じ期間に活動を行いました。

各部署で重点目標を決め、医療の安全に取り組みました。この活動を通して日頃から行っている安全チェックを発展的に見直していきます。

期間中は安全朝礼の実施や安全に関する各部署マニュアルの見直しなどを行い、職員全員が意識を高めるようにしました。



各部署の安全リーダーは腕章をつけました



薬剤科内でのチェック

平成18年度 医療安全強化週間 各部署重点目標

検査科	患者名、依頼内容は検査前確認。検査後確認。同僚の伝票もチェックマン！
放射線科	標語による注意喚起。「緊張感、有り過ぎ無さ過ぎ事故の元」「小さなミスを探しましょう」「その思い込み、今一度再確認」
薬剤科	調剤過誤ゼロ
リハビリテーション科	訓練中の転倒事故ゼロ。物理療法器具使用時の徹底。日替り安全リーダー。
高気圧酸素治療科	患者様へ高気圧酸素治療の注意事項をしっかりと説明する
栄養科	食品を安全に取扱い・配膳する
外来	採血時氏名・項目を読み上げ確認を徹底
療養病棟	投薬に関する事故ゼロ（声だし3回確認）
一般病棟	規則と手順、決めて守って再確認
介護病棟	転倒・転落防止 期間中ゼロを目指す
人間ドック	センター来院者に積極的な声かけで不審者侵入防止
THP	健康測定時の転倒・怪我予防と安全正確な実施。データ入力チェック強化。
情報管理課	個人情報取扱いの遵守
巡回健診業務課	無事故・無違反、いつも安全運転！
施設管理課	備品の点検に力を入れる
医事課	クレーム関係の処理
総務課	「電話対応留意」「院内患者様、来客者への配慮強化」
医局	期間中、安全担当責任者を務め、安全朝礼を実施する

院内18名のリスクマネージャーを中心として各部署が目標を意識し業務に取り組みました。



## 経鼻内視鏡検査＝鼻から入れる胃カメラの導入



当院で新たに導入した経鼻内視鏡検査機器

胃部の内視鏡検査はこれまで口から胃カメラを入れることで舌根部（舌の付け根）にスコープがあたり圧迫刺激するので「オエッ」となりました。当院では新たに開発された（外径5.9mm）の細いスコープを導入し、鼻から胃カメラを挿入することができるようになりました。鼻から入れることで「オエッ」となりづらく、楽に検査ができます。また、検査中モニターに映し出される自分の胃の映像を見ながら検査医と会話が出来ます。

患者様の声：「口から入れるカメラに比べてかなり楽であった。」（外来患者さま）  
「違和感が少なかった。次回も鼻からにする。」  
「鼻の奥に通る時に違和感があるが口からのカメラより楽であった」（人間ドック受診された方）



左がこれまでの内視鏡です。右が鉛筆。まん中（矢印）が経鼻内視鏡の先端です。比較するとかなり細いですね。

## 第3回転倒予防教室開催日記

昨年12月8日に第3回転倒予防教室（2日間日程の1日目）を開催しました。

今回も体力測定や講座・体操指導など盛りだくさんのプログラムが行われましたが、なかでも体力測定では自分の結果が年齢・性別に合わせて5段階に評価されるとあって参加者の皆さんは眼を光らせて取り組んでおられました。

体操指導では個人に合わせて苦手なところを克服できるようアドバイスをし、転倒しづらい体作りを指導させていただきました。

1月19日に行う2日目には再度体力測定を行い、みなさんが体操を継続して苦手を克服できているかを確認することになっており、私たちも結果を楽しみにしております。

これからも楽しい内容の教室を開催し、皆さんの健康な体づくりをサポートさせていただきたいと思っております。



わたくし、転倒無視！のテントウムシです。教室のマスコットでございます。

## こころは！ 部署紹介 健康管理センター

健康管理センターの業務は、人間ドック、来院健診、企業等を訪問して健診を行う巡回健診、二次健診、健康増進事業、産業医活動等です。地域住民・学校健診や企業健診等合わせて、年間約5万人の健康管理を実施しております。私共スタッフ一同は、ご利用いただく受診者の皆様にご満足いただき信頼が得られる事を念頭に置き、日々仕事に取り組んでおります。なかでも精度管理を始めとした「健診の質の充実」には最大限注力している次第です。

最近のトピックスでは、平成18年4月からマンモグラフィ検査車を導入し乳がん健診の充実を図り、多くの皆様のご好評をいただいております。又、平成18年7月政府管掌健康保険の生活習慣病予防健診の取扱いも開始致しました。（来院・巡回どちらでも対応出来ます。）尚、平成20年4月保険者に義務付けられる、メタボリックシンドローム対策についても、その対策を整えているところです。明るく親切的な対応をモットーに、スタッフ一同皆様のご利用を心からお待ちしております。



人間ドック担当メンバー（医師・看護師・受付）



昨年導入したデジタルマンモグラフィ車

